



平成 17 年 3 月定例会

愛の風景－『兄ちゃんに手を引かれて入学式』

特集 追跡！あれはどうなった－商店街の活性化、東西自由通路 ……P 2～3

予算審査 自主自(律)の町づくり ……P 4～8

一般質問 新行財政改革、環境保全型農業、公用車 ……P 10～11

町民の声 私はソーシャルワーカーです ……P 15

特集

追跡レポート

商店街中心部事業、 東西間通路構想の行くえは

三権分立のうち立法、いわゆる議会の最大の役割の一つに、議員の一般質問があります。

当局をたず一般質問は、議員の有言実行が問われる課題でもあります。

一般質問に答えて、当局の対応が具体的に推進されているか、この5年間のうち、多くの質問があった商店街中心部推進事業計画と、小松駅の東西間通路構想の2題の追跡レポートです。

商店街中心部の 事業計画

小松商店街の中心部の推進事業計画は、スーパリーの進出などの影響で、地元商店街への客足が減り、その対応が以前から大きな課題になっていました。

この対策の一つに、都市計画道路、いわゆる街路樹事業とも言われる国の政策がありました。

街路樹事業とは、商店街沿いの道路を拡張しながら整備するもので、費用の3分の2が国からの補助金となります。

最近の例では、高島町の商店街や、白鷹町の国道287号線沿いの整備事業が、この政策を取り入れて実施しています。

これに対して、町は平成9年度から県などの協力を得て独自の事業計画を立て、毎年、予算を計上し、これまでに凡そ2000万円を投入。

この間、街づくり研究事業を行うなど、地元商店街との話し合いを進めてきました。

一般質問で 当局をたず

活性化推進のこの事業計画は、地元商店街の未来がかかっているということで、議会の委員会や一般質問に度々登場し、真剣な論議がされました。

ハードから ソフトへの転換

当初の事業計画は基本計画の策定まで進んだものの、財政上から方向転換を迫られ、ひよっこりひょうたん島街づくりや、新年度は空き店舗の利用などに予算が計上され、ハードからソフトへと動き出しました。



駅東地区を結ぶ 東西通路構想

米板線で遮られている商店街と、駅東の美女木団地を結ぶ構想は、地元の長い間の懸案でした。この構想は歴代の町長が、陸橋を架ける計画の実現へと道を探って来たようです。

特に、駅東地区の開発と共に、具体的な方策が検討されました。

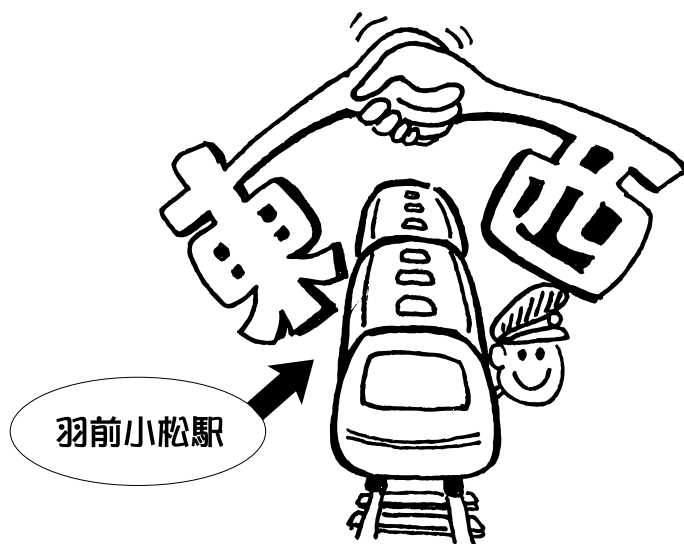
悲願の一般質問、 熱弁平成12年から

この駅東の交通アクセス構想は、町の将来にかかるビジョンとして課題となり、平成12年に一般質問で町当局の考えをたどりました。

その後も、再度この構想の実現に向けた当局の対応や経過などを求めてきました。

JRへの協力を 再度陳情

この構想の実現には、JRの協力は勿論の事、財政上の課題があります。特に、財政の厳しい本町にとって、東西間の交通のアクセスという大事業計画とあって、町独自で出来るはずがなく、国、県への要望にも努力して来ました。



しかし、結果として現的には挫折せざるを得ず、町独自の線路を跨ぐ歩道橋の建設も考えられるが、実現には遠のく。結局は、駅構内の跨線橋を通路として利用する事を検討し、JR東日本に陳情しています。今のところJRとの交渉で、この跨線橋の利用が実現する可能性が出てきているという事です。

大型2大事業 の今後？

本町にとってこの大型事業は、バブル経済後の計画構想とあって時期を逸したとも見られます。

この点から見ても、行政のチェック機能を果たす議会の役割は、一般質問の場だけでなく、常に町当局の対応や経過などを調査する必要があります。



● キーワード ●

* 商店街中心部

小松の表参道、五日町、坂の上通りの地区を指定。平成9年から毎年予算がつき、このうち商業活性化対策事業なども並行して推進へ。

* 東西間通路構想

羽前小松駅に陸橋を架ける調査費として、14年度に100万円のコンサルタントの委託費、16年度には通路跨線橋の調査設計費500万円を計上。しかし、行革の見直しで執行を中止。

平成17年度予算

自主自立(律)のまちづくり



新装開店！
グルーッと回れるようになりました。



平成17年度川西町一般会計及び特別会計（7会計）の予算案が町長より提案された。議案はただちに予算特別委員会に付託され、各常任委員会ごとの3分科会に分かれ3月8日から同16日まで所管の各項目について詳細かつ慎重な審査が行われた。

その結果、議会最終日の予算特別委員会で、各分科会主査報告を受け、質疑、討論を経て、本会議において全員賛成により可決承認された。

今年度の最大の特徴は財政再建をめざし、「新行財政改革大綱」を定め62項目について見直しをすること。

各団体への助成金、補助金を減額し、一般会計は、81億4600万円、前年比8%減、国民健康保険、老人保健事業など

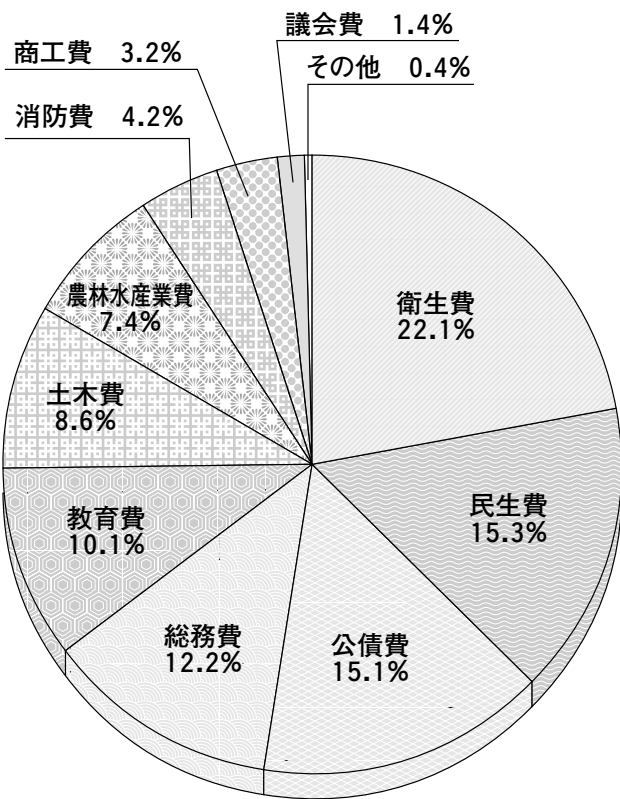
特別会計を合わせて143億1195万円である。また最大財源である地方交付税は増額されているが、公立置賜病院分（約13億3300万円）を除くと減額となっている。

一般会計予算年度別比較

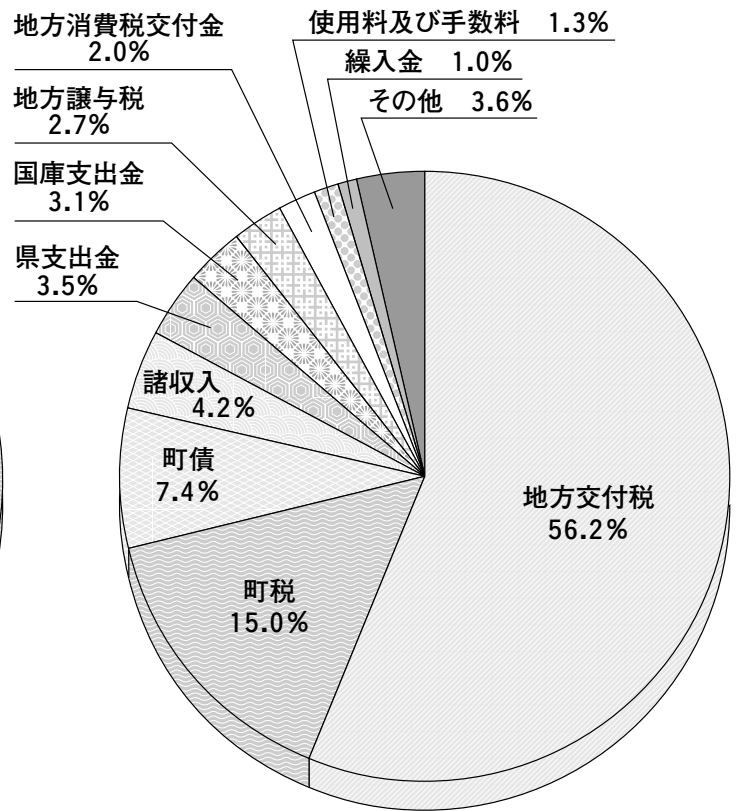
平成14年度	92億6,000万円
平成15年度	92億3,800万円
平成16年度	88億5,500万円
平成17年度	81億4,600万円

一般会計予算 81億4600万円

歳出



歳入



町民一人あたりいくらになるかな？

一般会計

項目	予算額(千円)	構成額(%)	一人あたり(円)
人件費	2,207,548	27.1	114,976
補助費等	1,878,224	23.1	97,824
公債費	1,229,550	15.1	64,039
繰出金	874,308	10.7	45,537
その他	1,956,370	24.0	101,894
合計	8,146,000	100.0	424,271

特別会計

項目	予算額(千円)	対象人口(人)	構成比(%)	一人あたり(円)	備考
国民健康保険	1,776,876	7,745	28.8	229,422	—
下水道	840,913	6,402	13.6	131,352	都市計画区域
老人保健	2,118,545	3,647	34.4	581,219	75才以上
農業集落排水	85,084	1,214	1.4	70,086	中大塚地区 下小松地区
老人訪問看護	19,123		0.3		
介護保険	1,325,406	5,494	21.5	241,246	65才以上
合計	6,165,947		100.0		

予算審査

各分科会に付託された議案について慎重に審査した。主な内容は次の通り。

第一分科会

問 町税の滞納対策の解決策は

答 収納対策室を設置し組織を強化し、収納率の向上に努める。

問 川西町誕生50周年記念事業の計画は

答 9月4日、フレンドリープラザで行う。前日の地酒と黒べこまつりを連携し開催する。その他ウォーキング事業やNHKラジオの公開番組などを計画している。

問 ペイオフ解禁への対応は充分か

答 現段階では決済用預金への移行は考えていない。

問 フラワー長井線に対する支援体制は

答 鉄道事業の継続を図るため、県および沿線2

市2町が協調して財政支援を行うものである。

輸送事業に限らない根本的な経営内容の転換を図るよう意見を付した。

問 外国語指導助手配置事業を復活するようだが

答 平成17年7月より配置する。単年度契約であるが、3年間延長可能。

問 スクールバス運行管理費は

答 平成17年度は従来通り一般混乗方式とするが、今後行財政改革大綱の中で総合的、効率的な運行となるよう検討する。

問 児童生徒が減少しているなか学校給食はどうなる

答 平成5年度と比較して800食ほど減少している。学校給食の見直し

については、大規模校から小規模校への配送を検討したが初期投資が大きいため、今後学区再編成等も視野に引き続き検討する。

体制の整備を図り早急に具体的施策を展開するよう要望を付した。

問 園児バス運行管理費の削減策は

答 本年5月より幼稚園バスの燃料を希望が丘で給食の廃油等を収集し精製しているバイオ・ディーゼル・ヒューエルに変更する。

問 指定管理者制度の導入を検討されているようだが

答 フレンドリープラザと図書館を一体的な施設として移行していく。

第二分科会

問 窓口業務の延長の対応は

答 毎週水曜日午後7時まで住民の利便性を図るため4月から3ヶ月間試行的に行うもの。勤務する職員には時間外手当を支給する。

問 特別養護老人ホーム整備事業補助金の削減理由は

答 本年度予定していたそよ風の森整備事業補助金を本町の財政事情により18年度以降に分割交付するもの。また療養型病

床群建設資金利子助成金についても同様とした。

問 ゴミ処理減量化の周知は万全か

答 千代田クリーンセンターへの負担割合は、平等割10%、ゴミ処理割90%となっていることからゴミ減量化やりサイクル

に徹底した取り組みを図って行く。

末端まで意識が浸透する方策を講じるよう要望を付した。

問 消防団員の統合を計画しているようだが消防力はだいじょうぶか

答 平成17年度2個班、平成18年度3個班、平成19年度以降4個班の9班を統合し、7個分団51個班体制となる。統合にあたっては消防力低下を防ぐため積載車配備による機動力を図った。

第三分科会

問 地籍調査事業は
答 犬川地内0.43km²の現地調査を行うものと法務局未送付分の解消に努めるもの。

問 畜産共進会事業の本町の取り組みは

答 9月に置賜家畜市場を主会場として開催される、第5回東日本和牛能力共進会の負担金が主なものである。

開催地の町として成功に向け万全を期すよう要望を付した。

問 「そば」採取ほ設置の計画は

答 本県のオリジナル品種「でわかおり」の種子の緊急増量を図るため、県単独補助事業により採取ほを設置するもの。

問 松くい虫防除対策は

答 民有林を対象として伐倒駆除を行うもの。

景観の維持に努めるよう要望を付した。

問 シルバー人材センターへの補助はどうなっているか

答 高島町と本町で(社)東置賜シルバー人材センターへの運営補助を行っている。負担割合は、人口割50%、60才以上人口割40%、平等割10%で3年に一度見直す。

問 ダリヤ園の入場者が減少しているが対策は

答 入園者数(入場料)は気象条件やその時々のお観光動向およびイベント内容により左右されるが関係機関と連携してPR活動をを行い入園者の増加に努める。

ダリヤの町づくりのため町内に入る国道道沿いにダリヤの植栽をする。

問 浴々センターの支援は

答 管理運営委託料および施設修繕費等の支援について委託先の経営努力を促し、町負担の軽減を図る。

問 水道事業会計中配水設備改良費は

答 石綿セメント管更新は平成4年度より整備を始めた更新予定延長12万7823mのうち更新率は52.7%となる。

町長に聞く

各分科会では、担当課の説明範囲を超える問題や、政策的判断による予算措置について町長の出席を求め、直接政策を聞く機会を設けた。その主な内容は以下の通り。

問 行財政改革を進めるにあたって、各課の取り組み体制は

町長 政策総務課経営管理グループ内に行革担当を配置して進捗管理を行う。各課では、主幹(課長補佐)を責任者とし、各項目ごとに実施担当を決め、日常業務の中で取り組む仕事との認識で推進する。

問 総合病院周辺のグラ

ンドデザイン及び民間による開発の誘導策が必要であると思うが。

町長 地権者、住民の方々の理解のもとに、その意思が最大限尊重された計画であるべきと考えており、地域の方々を中心に論議を進めてほしいと思っている。次期総合計画に支援策の指針を盛り

込みたい。

問 百歳祝い金支給条例は継続すべきである。

町長 町をあげてお祝いしようという姿勢に変わりはないが、日本が世界に類を見ない長寿国となつて、条例の趣旨は達成されたとも思われ、現金支給という手法も納税者の理解を得にくいとの判断から廃止条例の提案となつたのであるが、議会に真意をご理解いただくに至らなかったことを反省し、条例廃止を撤回する。

問 公共下水道事業を一時休止することであるが、その後についてはどうなるか。

町長 小松地内の三水路については、整備も含めて、通年通水にむけて検討する。



開発が進む公立総合病院付近

行財政の質的転換の道すじは

山田一郎 議員

問 第四次総合計画策定における柱、あるいは視点はどこにあるのか。

町長 自主・自立の地域づくりを考える時、大切なのはまず、住民の生活を成り立たせる産業基盤をどのように作っていくのか、そして豊かな感性を持った住民を育てることによるコミュニティ作りであると考えている。

問 その時、行政と住民に求められることは。

町長 容れ物（枠組み）を変え、現場主義に徹す

る。そのため、職員が町民と共に研修し、行政依

病院返還金は過大見積りでは

佐々木賢一 議員

問 歳入で、置病組合からの返還金五〇〇万円を見込んでいるが、入院、外来とも患者が減少したこと

ことから、二月の補正予算で当町の負担金が二八〇〇万円増額されたばかりである。過大見積りにならないか

町長 補正予算で負担金

存を排し住民に力をつけるための施策を展開することに尽きると考えている。

が増加したことは指摘のとおりで、特に四、五月の患者の落ち込みが収支に影響している。

冬期間、インフルエンザの流行もあったので、一〜三月の収益回復に期待し、前年度実績を踏まえて、ほぼ同額の返還金を見込んだものである。

企業誘致や「特区」で町に活力を

高橋 徹 議員

問 重点施策目標中、「住みよいまちづくりをめざした社会資本の整備促進」とあるが、町の活性化のためにどうしても民間活力を高めなければ賑やかな町づくりは出来ない。そのため、企業誘致、働く場所についての考え方、姿勢を問う。

町長 川西町に住み続けていくためには、道路網の整備、克雪、情報格差

の是正など、社会資本の充実、整備を計画的に実施していく必要がある。

現下の経済情勢の中にあつては企業誘致等で一挙に雇用確保を図ることは困難であるため、町内の農業を始めとした既存事業者への支援、町全体の魅力を高めることによる交流の拡大、起業家などが必要と考える。

問 今、各市町村でさま

ざまな「特区」の指定を受け活力を高めているが、本町ではどうか。

町長 特区については、16年度中に町内の事業者や経営者の方々よりご意見を伺ってきた。今後、事業者の方々の意向や町民の皆さんの新たな取り組みや事業化の中で制約があれば、特区の申請等に支援していきたい。

議会メモ

置広温水プール建設計画を見直し

●二月二十四日
置賜広域事務組合の議定会定例会が開催。平成十七年度一般会計の総額は、前年度比12%減の43億7100万円等、5議案を承認、可決。余熱利用施設の建設計画を見直すのに伴い、大幅減。

●二月二十三日
本町議会議員の研修会が開催。県置賜総合支庁の相田信企画振興課長が置賜地域のビジョンと題して講演。

●三月二十五日
本町議会と高畠町議会の交流会。介護と消防の広域行政について話題提供。

●二月十六日から十七日
全国町村議会の広報研修会に本町議会の広報委員6人が参加。

●二月二十四日
置賜広域事務組合の議定会定例会が開催。平成十七年度一般会計の総額は、前年度比12%減の43億7100万円等、5議案を承認、可決。余熱利用施設の建設計画を見直すのに伴い、大幅減。

●二月二十三日
本町議会議員の研修会が開催。県置賜総合支庁の相田信企画振興課長が置賜地域のビジョンと題して講演。

●三月二十五日
本町議会と高畠町議会の交流会。介護と消防の広域行政について話題提供。

●二月十六日から十七日
全国町村議会の広報研修会に本町議会の広報委員6人が参加。

●二月十六日
置賜広域病院組合の議定会定例会が開催。平成十七年度事業会計予算（収益的収支の収入）134億2364万円、（支出）5478万円。

●二月十六日
置賜広域病院組合の議定会定例会が開催。平成十七年度事業会計予算（収益的収支の収入）134億2364万円、（支出）5478万円。

公債費(借金)を借り換え 17年度で2億7千万円の 減額効果

一般会計

歳入歳出それぞれに10億4千2百万円を追加し、総額を100億6千2百万円とするもの。

歳入の主なものは、過去にフレンドリープラザや浴浴センターまどか建設等に要した公債費(借金)を低率のものに借り換える10億4100万円。これはいわゆる借換債(借金)で、借り入れ利率は平均で4.78%であったものが1.6%と低くなっている。この他に小松小学校体育館等整備費の繰り上げ償還のための国からの補助金の1億円などとなっている。

歳入の主なものは、歳入での報告の通り公債費(借金)4件の借り換えと繰り上げ償還に要するものとなっている。なお今回の10億円余の借り換えを行うことによりこれまで予定されていた平成17

その他の会計

年単年度での公債費(借金の返済額)は2億7千万円程の減額となる。これにより、当面の財政危機を乗り切る見通しが出て来たものと思われる。

全員賛成により可決

その他、下水道事業会計から農業集落排水、老人保健、訪問看護、介護保険、水道事業の各会計については、それぞれ決算見込みにたって歳入歳出とも同額の若干の補正となった。

全員賛成により可決

合併 特別委員会

最終報告書を提出

平成十六年三月議会にて設置された合併に関する特別委員会(議長を除く議員全員で構成)は、この間延べ二十三回にわたり会議検討を重ねながら三月定例会にて議長あて最終報告書の提出を行った。要旨は次の通りである。

前回の合併に関する特別委員会は、昨年3月議会にて「合併特例法の期限内で米沢市を含めた合併の枠組みを目指すべきである」として審査を終了し解散したものであるが、同時期に飯豊町長の呼びかけにより置賜広域病院組合構成市町村で事務段階の協議がなされたことなどから、議会としてもあらゆる状況に対応できるよう、同じく昨年3月議会で改めて合併に関する特別委員会の設置がなされた。

本町の行財政の現状と課題を見極めながら合併の可能性を追求し、状況の変化に対応すべく平成17年3月議会まで特別委員会を継続設置することとなった。

新たな まちづくりの提言も

置賜広域病院枠の
合併は白紙に

以来、検討協議を重ねて来たが、8月19日2市2町首長出席のもと開催された合併検討協議会にて合併構想が白紙撤回となったことを受け、協議検討の結果、平成17年3月の合併期限にこだわらず本町の行財政の現状と課題を見極めながら合併の可能性を追求し、状況の変化に対応すべく平成17年3月議会まで特別委員会を継続設置することとなった。

本特別委員会は、合併特例法期限内に向けて積極且つ慎重に議論を重ね活動をしてきたが置賜広域は「合併いまだ熟せず」の状況であり、当面自立を目指す本町の今後の行財政改革の実施の検証や新たなまちづくりの提言について協議の場を設置し、活動を継続して行かなければならないと結びながら最終報告とした。

一般質問

行財政改革をどう進める

町長 志を高く断行する



横山明博 議員

問 新・川西町行財政改革大綱についてどう対処するか。

町長 志を高く持ち、改革を断行する。

問 サテライト川西診療所の見直しと廃止検討についての考え方は。

町長 医師の確保が困難であることや、玉庭分院の問題、診療体制の変更等に対応した見直しを関係者や機関と協議し改革



町民の命を守る診療所だが・・・

を進めたい。
問 小・中学校の現行学区についての検討は。

町長 基本構想立案、見直しの策定、懇談会の設置、学区再編推進協議会の設置、学校設置条例の改正等の手順がある。

教育委員会で協議を深め住民の方と協議し進める。

問 幼児施設の統廃合と民営化について。

町長 少子化や施設の老朽化等で統廃合や民営化を進めたい。また町民の保育ニーズに添えて行く必要がある。

四月から子供育成室を設置し、幼児教育、保育ならびに子育て支援について充分議論してゆきたい。

問 指定管理者制度の導入について。

町長 公の施設の今後の管理方式は基本的に指定管理者制度とする。

民間能力の活用によるサービスの向上と施設の機能発揮、管理運営の効

率化によるコスト節減、新たな発想による事業展開など、効果が期待される施設については、積極的に制度の導入を図る。



平田千代子 議員

問 昨年産米は大幅な価格の下落で農家は大打撃を受け、農業の継続はできるのかと大変不安を感じておられます。

国の農林行政が大きく転換することになる「米改革」について原田町政はどう対処されるのか。さらに農家戸数3000戸以上であったわが町で、1900戸台に激減し消滅しかねない危機的状況が続いております。こうした高齢化、生産構造のせい弱は、全国共通した問題で、さしあたって担い手の育成は。

町長 所得目標は厳しいが5法人、245の経営体などほぼ目標は達成できる見込みです。

問 次に環境保全型農業についてですが、京都議定書が発行に

環境保全型農業の進め方は

町長 安心・安全の産地作りに取り組む

一般質問



見えにくい ホッケーのまちづくり

問 行財政改革を進めるにあたっての取り組み姿勢と決意について。

町長 新・行財政改革大綱の推進にあたっては、行政サービスの低下をきたさないよう努力する。

一方で、今までどおりのやり方を継続することは極めて困難でもあり、行政の役割と町民の役割を明確にしながら、二人三脚で協働のまちづくりを進め、町民の皆様の充



高橋建一 議員

町長 町長公用車は廃車へ
町長公用車は大型でなくとも

分な理解を得ながら取り組んでいかなければならないと考えている。

問 町長公用車である黒塗りの大型高級車について、厳しい財政状況の中身の丈にあった考えにたちますと、大型車でなくともいいのではと思えるのですが。

町長 町長車を廃車し売り払い、新たに求めることなく、既存の一般町有車両又は、議長車を兼用し公務にあたる。

問 「ホッケーの町」の推進をどのように受けとめて今後の対処は。

町長 今後共「ホッケーの町」を標榜してまいりたいと考えておりますがそのためには、町民の皆様のホッケーに対する理解を更に深めていただくことが重要であり、例えば文部科学省が進めている総合型地域スポーツクラブを取り入れるのも一つの方策と思っている。



今年もスタート モミガラ培土風景

なり、農業といえども無関係でおれない。まず第一に目標設定を行うべきです。2、産地作り交付金等を利用した推進、3に減収する分の作付面積を多く配分すべきです。安全で環境にやさしい米作りにはずみがつくと思います。4、環境保全型農業に転換するには、直接支払の対象にされるよう国に強く要望すべきです。

町長 農業生産全体を環境保全に転換することは国民の信頼を得ること、農業に課せられた責務である。産地間競争の激化の中、環境保全を重視した接続、可能な農業を確立し安全・安心の産地作りを全力で取り組みたい。

問 自給率向上は、基本計画の大きなテーマであり先進国で最低の水準だかどう思われるか。

町長 自給率向上にむけ最大限取り組み。

請願審査

戦後教育の評価分かれる

昨年12月議会で総務常任委員会に付託された「教育基本法の早期改正を求める意見書の提出についての」の請願審査で、白熱した討論が展開された。同請願は賛成多数で可決されたものの、その後に発議された意見書は、請願者の案文を大幅に書き換える内容となった。

戦後60年は基本法理念を広げる60年。

黒澤 巖 議員

教育基本法は、制定以来いくたびか改定の論議を繰り返してきたが、そのつど、真理と正義を愛し、教育権の独立を、歴史法則の依るところとする国民の良識と、改定を企図する勢力の論理的・道義的な都合がたまたま露見したりといったことが重なり、今日まで続けられてきた。

教育基本法の第一条には、教育の目的として「真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民」を育てて行くことと書いている。改定すべきだという皆さんに申し上げる。真理と正義を愛する日本人は、不正な政治や真理を無視した指導者を憎むかもしれないが、郷土や祖国を愛さないと

でもお思いか。個人の価値を尊びすぎると社会をないがしろにするようになるとでもいうのか。勤労と責任を重んじるよう育てられた若者は不労所得や分配の不公平に不満ばかり唱えるようになるとお考えか。

同法が制定されて60年。さまざまな問題を抱えつつも、義務教育の保障、へき地教育や定時制・通信制教育、そして障害児教育の改善がなされたのは、同法の理念を実現すべく、教師、親たちそして国民の努力が重ねられたからに他ならない。いわばこの60年は、基本法の理念を世の中に広げる60年だった。

軽々な改正には断固反対する。

討 論

教育基本法改正は是か否か

時代にあった改正は自然の理である。

金子一郎 議員

教育基本法は制定後、半世紀以上が経過する中で、教育の量的拡大や、国民の教育水準の向上等の成果を生む反面、国民全体のモラルや青少年の規範意識の低下、学校教育に於ける緒課題、家庭の教育力の低下、また行きすぎた自由、個人主義など社会の様々な分野で歪みが生じて来ている。

学級崩壊・学力の低下、凶悪化する少年非行など教育現場と関連する諸問題・多発する凶悪犯罪、社会力の低下などは、多くが道徳や規律のゆるみと密接に結びついており、『道徳』に象徴される人間の生き方、心の教育を軽視して

きた結果と言っても過言ではない。基本法の改正が、これらの解決に直に結びつくかという疑問がある事も、充分承知しているが、しかし、少なくとも諸課題に対し国民の一致した考え方が醸成され、国を継承していく為の素養と姿勢を示す事は重要である。

戦後60年、歪みが生じれば是正し、よさは更に伸ばし、国の貴重な財産である国民、その国民の人格、人間形成に大きな係りをもつ教育の憲法である基本法をその時代に合った姿に改正する事は自然の理であると考える。

条 例

個人情報保護条例を制定

平成17年度より個人情報保護に関する法律が施行されることになったが、これを受けて本町でも同様趣旨の条例が制定された。実施機関は、情報公開条例と同様に、町長。教育委員会、選挙管理委員会、監査委員会、

固定資産評価委員会、消防長及び議会と規定。今後は、これらの機関といえども、個人情報の収集や外部提供、開示に際してこの条例を越えた扱いはできないこととされた。

全員賛成

川西町体育施設

条例の一部改正

多目的運動場の照明施設の使用料を値下げ

法定外公共物管理条例

長堀堰農業振興

基金条例の一部改正

介護保険条例の

一部改正

認定審査会の委員定数の増

いずれも全員賛成

全員賛成

職員定数の

一部を改正する条例

町長部局の定数1977人を173人に減員し、その分が教育委員会所属となる。この度の機構改革で、三つの保育所の要員が幼稚園と同様に教育委員会へ移動。

人事

農業委員会委員を推薦

齋藤 君子さん

住所

川西町大字堀金二、三三九

鈴木 さくさん

住所

川西町大字玉庭五、二五三十一

多田 久司氏

住所

川西町大字中小松二、七九一

(白川土地改良区推薦)

人権擁護委員の選任に同意

平成17年4月30日で任期満了になることに伴うもので再任することに全会一致で同意。

島貫 稔氏(再任)

住所

川西町大字吉田三、六〇〇

生年月日

昭和7年2月8日

固定資産評価審査委員の選任に同意

平成17年3月31日で任期満了になる固定資産評価審査委員情野正弘氏の後任について全会一致で同意。

齋藤 幸夫氏(新任)

住所

川西町大字荻四七五

生年月日

昭和36年4月10日



自治功労賞に 小形喜輔議員

二月十七日に開催された置賜地方町村議会議長会定期総会に於いて、議員在職十七年以上の自治功労者として小形喜輔議員が受賞した。

三月定例会の席上、田村議長より伝達された。



表紙の写真



愛のある風景
「元気に歌う一年生」

四月八日、町内一斉に小中学校の入学式が行われた。玉庭小中学校では、小学校の新一年生八名、中学校へは五名が入学した。校舎周辺は、今冬が大雪だったことを物語るかのように、大量の残雪に覆われている。しかし、確かな春の訪れを感じながらの合同入学式では、中学一年生のお兄さん、お姉さん達に新生生が手を引かれての入場で、併設校ならではの光景も。保護者はもちろん、先生方、地域にとっても、嬉しいお祝いの日。式の終わりには、新一年生がステージ上で大きな声で元気よく歌を披露した。

産業建設常任委員会

単作農業からの脱却を

2月28日、飯豊町の有限会社後藤農場と本町の鈴木清左衛門氏の園芸ハウスを訪れ優良農家及び施設調査を行った。

後藤農場は、平成七年に設立し現在の経営規模は、ハウス15棟(2500坪)。春の花壇苗、秋のシクラメンを主力に年間約40種類を生産し年間売上高は、約8000万円である。

米の自由化に危機感を抱き、米から脱却した経営に方針転換し、今では



ハウスの中で経営の将来展望を聞く

近隣の生産者も含めた鉢物産地としてのレベルアップに力を注いでおり、毎年研修生を受け入れて新規就農者の育成にも努めている。

J Aのアルストロメリア部会長を務めている鈴木さんは、約4000㎡の施設で栽培、出荷している。平成14年には、県のベストアグリ賞の最優秀賞に輝き、町の花ダリヤの栽培も手がけている。ともに更なる飛躍が期待される。

総務常任委員会

学区再編が不可避か 教育委員と懇談

1月25日、教育行政に関する調査の一環として少子化対策を中心に教育委員との懇談を行った。

最近の教育を巡る話題として「ゆとり教育」からくる学力の低下が取り沙汰されているが、本町においては、関係者の努力により置賜地区内で

は評価できる位置づけとなっている。

次に、平成22年度の児童生徒数の予測については16年度との比較で160名程の減少となる予定であり、今後は少子化対策が緊急の課題となってきた。

これは、「児童生徒の

厚生常任委員会

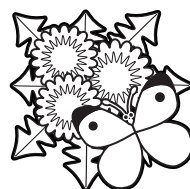
経営の安定こそが地域福祉に寄与する

2月23日、介護事業所の視察調査として川西町西大塚の介護センター葉師温泉を訪問し研修を行った。同施設は平成15年12月18日、居宅介護支援事業所の指定を受け、平成16年7月24日より、デイサービス、グループホーム事業をオープン。

本年1月末現在の利用状況は、デイサービス事業では地域別が川西、南陽市で全体の91%、介護別が要介護2〜3で73%を占めており現在、定員18に対し満床の利用状況であった。

同施設は「高齢者の尊厳」を基本理念に「来て

人数が少なければ教育が行き届く」の範囲を越えて学校そのものが成立しなくなる可能性があるというところで、当面、学区の再編成を検討することがより現実味をおびてくる状況となっている。



よかった。また来たい」と言う介護センターを指しているが、小規模事業所のほとんどが経営的に厳しい状況にある旨の説明を受けた。

今年度で介護保険制度の見直しが行われるが、高齢者が安心して利用でき、小規模な事業所も安定した経営ができることが課題である。

町民の声

私はソーシャル ワーカーです！



自分では制服姿を気にしています。

小林 藍子

川西町時田

私は、かがやきの丘の在宅介護支援センターに所属するソーシャルワーカー（社会福祉士）です。人との関係性を

つくるのが仕事

在宅のおとしよりを訪問してその実態を調査したり、体調や家族のことなどさまざまな相談を受けるのが仕事でほとんど外歩きの毎日です。

地域の民生委員さんたちの調査による台帳（4月からなくなりません）によって訪問するのですが、アポなしでいきなりおじゃまするケースがほとんどです。というのは、施設名を名乗ることになりますので「まだそんな所の世話になりたくない」と拒絶されることも少なくないからです。なんとかかわかっていたいで座敷に上がらせていただいても、きちんとお話が聞けるとは限りません。そういう時は、複雑な気持ちにもなりますが、ま

だこの仕事に就いて一年。地域の人たちとの関係性を作るのが仕事と考えています。

予防がイチバン

もう一つは、元氣な皆さんを対象とする予防事業です。

昨年は町の委託で、東沢地区で転倒予防の講習会を開催しました。体育館の指導員の方を講師に簡単な体操や、転倒を防止するための注意事項など学習していただきました。今後、介護保険の中に予防事業が位置づけられることになり、本年は2ヶ所で開催する予定です。例えば、認知症（痴呆症）も、きちんと予防したり、進行をおくらせることができることなどで、案外知られていませんので、取り組んでみたいテ

ーマです。

「ためこまないこと！」

休日には、友人をさそって海までドライブしたり、山に緑を見に行ったり…。とにかく「ためこんでいてはこの仕事はつとまらない」と自分に言い聞かせています。

でも実際には、ちょうど孫の世代ということもあって、おとしよりには可愛がられていますし、かえって元氣をもらって帰ることも多いのです。

・こばやし あいこ

淑徳大学卒業。長井市の民間介護事業所での現場体験を経て現職。

祖父母、両親と兄の六人家族。昭和54年生まれ。

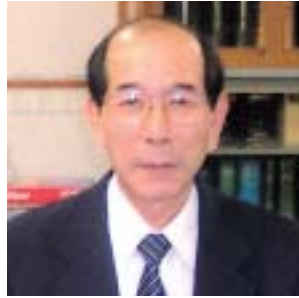


「かがやき」土曜の朝

先人達の苦勞と 努力を心に刻む

長井市・新田隆一さん

わがまちをよそから見れば…



<にった りゅういち>
昭和23年川西町玉庭生まれ
長井市在住 56才
現在、白川土地改良区 総務課長

今年は例年にならない大雪となり、農作業の遅れや融雪災害が心配される昨今です。
私は昭和四十九年より白川土地改良区にお世話になります。頭の毛も極端に少なくなり寒さを感じるようになりました。
振り返ってみますと以前は毎年、犬川、黒川の水不足に悩まされ夜水引き（夜無断で隣の田の水口を止め自分の田に通水する行為）は毎晩行われ

変苦勞した経過がありま
す。昭和四十二年八月に
は羽越水害もあり早魃と
水害の繰り返しの中、農
を営んできました。
そのような水不足と水
害を解消するため、飯豊
町中津川にダムを造りト
ンネルで川西町に通水す
る国営白川農業水利事業
が着手されました。当時
他町の水を使用する事な
ど夢のような計画で信じ
られない人もいたよう
で
今から約二百二十年前

上杉藩が二十年がかりで
飯豊山中腹に穴を掘り、
新潟に流れる水を白川に
引水した業績をご存じの
方もおられると思います。
安定した農業用水を求め
た先人達の歴史は昔より
繰り返されているように
も感じます。

昭和四十四年より着工
された国営白川農業水利
事業の犬川黒川トンネル
も完成し昭和五十五年試
験通水が行われました。
玉庭軽井沢のトンネル出
口より長年待った白川ダ
ムの水が轟音と共に流れ
出た瞬間、歓声と笑顔、
又、涙ぐむ人、水に触れ
る人、鮮明に思い出され
ます。苦勞と努力で大事
業が完成した瞬間でした。
さて「わがまちをよそ
から見れば…」のテーマ
に戻りますが川西町・飯
豊町・長井市の一市二町
とも理解者の多いすばら
しい町です。先人達の苦
勞と努力を心に刻み、稲

作が続けられる限り施設
の維持管理に努め、後世
に受け継いで行くのが本
区の責務です。
最後になりますが川西
町も財政難で大変でしよ
うが、ご理解のうえ維持
管理費の助成等、今後も
継続していただくようお
願い申し上げます。

定例会は3、6、9、12月です。くわしくは議会事務局へ
行ってみませんか
議会傍聴
手続きはかんたん。だれでも傍聴できます。

編集のなごり

「山含情水含笑万象更新」。山は情を含み水は笑いを含む。そしてすべては新しくなる。

▼例年になく残雪の多い年だが、いつもどおり、卒業式があり、入学式があり、転居やそれにとまなう転居があったり。慣れ親しんだ顔ぶれが一新する季節▼その気になればいつでも顔を見られるとはいいながら、お世話になった人を送るのは悲しい▼一方では、親子ほども歳のちがう新人の元気な挨拶に、いつのまにか背を丸めがちな自分を気づかされた▼このメンバーの議会報はこれが最後。町民の皆さんに、伝えるべきことを伝えられたのだったか、余り自信はないが、ご声援に感謝！（クロ）

- 委員長 淀 秀夫
- 副委員長 黒澤 巖
- 委員 高橋 忠
- 〃 高梨 勇吉
- 〃 平田千代子
- 〃 高橋 建一